

## 小学校外国語科 学習指導案

学校名 三次市立甲奴小学校

指導者 HRT 空久保 朝華

JTE 吉村 直紀

ALT Kelechi Amadi

1 日時 令和3年 6月17日(木) 第6校時

2 学年 第5学年 9名

3 単元名 Can you do this? できる・できない (Junior sunshine5 Lesson4)

### 4 単元について

#### ○児童観

本学級の児童は、第1学年から英語活動を行ってきており、挨拶や気持ち、好きなものなどの表現に親しんできている。また、本年度から行っている外国語科では、担任やALT、JTEと関わりながら英語での挨拶や自己紹介、誕生日を尋ね合うなどの簡単な会話も行っている。日常生活でも簡単な表現に触れさせており、英語に慣れ親しもうとする児童が多い。

6月実施の外国語活動に関するアンケート結果では、

質問項目	人数 (□/9)
「外国語科の授業に進んで参加しています」	8/9
「外国語科の授業では、英語を使う場面を考えながら活動しています。」	9/9
「相手が英語でゆっくりはっきり話していれば、だいたいの内容が分かります。」	9/9
「相手が英語でゆっくりはっきり話していれば、どのイラストや写真のことを話しているかわかります。」	9/9

これらの結果からも外国語科に対する意欲や関心の高さがうかがわれる。

しかし、以下の項目では肯定的回答が少なくなっている。

質問項目	人数 (□/9)
「英語を使って、コミュニケーションをしようとしている。」	7/9
「英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。」	7/9

このように、英語でコミュニケーションをとることや、会話が続くようにやり取りすることに自信のない児童がいることがうかがえる。また、語彙力や英語で表現を自らする事に自信がなく、活動に対する意欲が低い児童もいるため、本単元を通して意欲的に英語でやり取りする姿勢を目指す。

#### ○単元観

本単元では、単元のゴールを、「甲奴小学校の先生ができること、できないことをALTの先生とJTEの先生に紹介しよう」と設定している。甲奴小学校の先生ができること、できないことを紹介カードにし、それをもとに紹介を行う。紹介カードを作る過程で、動作や動物など外国語活動で学習してきた言葉を使い、新出表現も学習しながら「できること、できないこと」

を尋ね合う活動に取り組む。単元のゴールでは、作った紹介カードを ALT の先生と JTE の先生に紹介する活動を通して、can [can't] や Can you ~?, He [She] の英語表現を理解することをねらっている。これまでの児童は、一人称と二人称のみで思いを伝え合ってきた。初めて三人称に出会うことで理解しづらい場面もあると考えられるため、丁寧に扱っていく。

### ○指導観

指導に当たっては、本単元のゴールである、「自分や先生のできること、できないことを、ALT の先生と JTE の先生に紹介する」を意識させることを通して、相手意識をもたせ、意欲的に取り組むことができるようにする。

単元の前半では、できること、できないことについて尋ねたり答えたりする学習を行う。教科書教材や既習事項から、動作を表す語彙や can, can't を使った表現を繰り返し扱うことで、それらに十分慣れ親しませ、自信をもってコミュニケーションができるようにする。また、一人一人ができることを認め合ったり、できないことについて共感し合ったり、友達の新しい一面を発見したりすることも期待できる。

単元の後半では、三人称に出会わせる。そして、校内の先生にインタビューをし、その結果を基に ALT の先生と JTE の先生に紹介するというゴールを設定することで、三人称への理解を深められるようにする。この活動を通して、英語を使ってコミュニケーションができたという成功体験を味わわせ、これからの学習への意欲を持たせる。

## 5 単元目標

- ・自分や先生の「できること、できないこと」の言い方を理解することができる。また、小文字を読むことができる。 【知識・技能】
- ・自分や先生の「できること、できないこと」を発表することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・他者に配慮しながら、自分や先生の「できること、できないこと」を発表しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

## 6 新学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

## 7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	甲奴小学校の先生方にできることをインタビューし、He can～.She can～.の表現を使って(プロフィール)カードを作成する。作ったカードを ALT の先生と JTE の先生に紹介する。
目指す発話例	A : Hello. Look! Look at this. What's this? B : A racket?

	<p>A : Yes, that's right. This is my badminton racket.</p> <p>I can play badminton very well.</p> <p>I love badminton very much.</p> <p>Can you play badminton well ?</p> <p>How about you, Yoshimura?</p> <p>B : I can't play badminton well. I can play badminton a little.</p> <p>A : Oh, I see. How about you, ○○さん ?</p>
--	---

## 8 言語材料（下線は新出表現・語彙）

主な表現	主な語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>Can you ~?</u></li> <li>・ <u>Yes, I can. / No, I can't.</u></li> <li>・ <u>I can [can't]~.</u></li> <li>・ <u>he, she</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動作 (fly, jump, run, sing, swim, walk, jump rope, read a book, play badminton, play soccer, play the piano, play the recorder)</li> <li>・ 動物 (ant, butterfly, penguin, crocodile, dolphin, bear, rabbit, cat, dog, elephant, frog, kangaroo)</li> </ul>

## 9 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉自分や先生の「できること、できないこと」の表現を聞いて、理解している。	自分や先生の「できること、できないこと」について話される会話や紹介を聞いて、概要を捉えている。	自分や先生の「できること、できないこと」について話される会話や紹介を聞こうとしている。
読むこと	〈知識〉単語の音とそれを示す小文字について理解している。 〈技能〉動作や動物を表す語を識別し、その読み方を発音する技能を身に付けている。	/	動作や動物を表す語について、示されている文字を手がかりに、その読み方を発音しようとしている。
話すこと (発表)	〈知識〉 Can you ~? や He(She) can~. などの表現について理解している。 〈技能〉先生の「できること、できないこと」について、He(She) can~. などの表現を用いて、紹介したい動作や得意技などを話す技能を身に付けている。	先生のことを紹介するために、動作や得意技などについて、簡単な語句や表現を用いて話している。	先生のことを紹介するために、動作や得意技などについて、簡単な語句や表現を用いて話そうとしている。

## 10 児童に付けたい資質・能力（本単元を通して身につけさせたい力を書く。）

コミュニケーション能力	課題を発見し解決する力	乗り越える力
○甲奴小学校の先生のできることに ついて、ALTの先生とJTEの先生に紹介することができ る。	○ALTの先生とJTEの先生に紹 介するために、どのようなこと を紹介したらいいのかを考え、 甲奴小学校の先生の紹介カード を作ることができる。	○ALTの先生とJTEの先生に紹 介するために、紹介の仕方を理 解し、伝わるように紹介カード を作ったり、発表したりするこ とができる。

## 11 単元指導計画

〈聞〉…聞く 〈読〉…読む <や>…やりとり <発>…発表 <書>…書く

時	各時間の目標（◆）と主な活動（○） 【 】＝紙面にある活動，資質・能力〈〉 〈コ〉…コミュニケーション能力 〈課〉…課題発見解決 〈乗〉…乗り越える力	評 価			表現例	
		知 技	思 判 表	態 度		評価規準
1	◆英語で「できること，できないこと」を表 現する言い方を理解することができる。 ◆動作の表現を知ることができる。 ○【Let's Listen 1】 ・can, can'tの表現を理解する。 ○【Let's Play 1】 ・ポインティング・ゲーム 〈乗〉			聞	・自分や先生の「で きること，でき ないこと」につ いて話される会 話や紹介を聞こ うとしている。	・ Can you～? ・ Yes I can. ・ No I can't.
2	◆can, can'tの表現を聞くことに慣れる。 ○【Let's Listen 2】 ・動物が「できること，できないこと」を 聞く。 ○【Let's Play 2】 ・サイモンセズをし，動作の表現に慣れ親し む。 〈乗〉			聞	・自分や先生の 「できること， できないこと」 について話され る会話や紹介を 聞いて，概要を 捉えている。	・ I can～. ・ I can't～. ・ Who am I?
3 本 時	◆クイズを通して Can you～?の表現に慣れ る。 ○【Let's Play 2】 ・サイモンセズをし，動作の表現に慣れ親し む。 ○【Let's Play 3】 ・ Can you～?を使って，友達にできること を尋ねる。 ○【Let's Play 4】 ・スリーヒント・クイズを行う。 〈コ〉	読		読  や	・動作や動物を表 す語を識別し， その読み方を発 音する技能を身 に付けている。 ・動作や動物を表 す語について， 示されている文 字を手がかり に，その読み方 を発音しようと している。	・ I can～. ・ Can you ～? ・ Who am I?

4	<p>◆he, she を使って「できること, できないこと」について話し合う。</p> <p>○【Let's Listen 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族のできること, できないことについて紹介を聞く</li> </ul> <p>○【Let's Listen 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気を話題にして, he, she の言い方と can, can't について理解を深める。</li> </ul> <p>○先生にインタビューをする。</p> <p style="text-align: right;">〈コ〉</p>	聞  や		<p>聞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や先生の「できること, できないこと」の表現を聞いて, 理解している。</li> <li>・自分や先生の「できること, できないこと」について話される会話や紹介を聞こうとしている。</li> </ul> <p>〈コ〉 甲奴小学校の先生のできることに、ALT の先生と JTE の先生に紹介することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ He can [can't] ~.</li> <li>・ She can [can't] ~.</li> <li>・ Can you ~?</li> </ul>
5	<p>◆紹介カードを作り、紹介の練習をする。</p> <p>○【Let's Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介するカードを作る。</li> </ul> <p style="text-align: right;">〈課〉</p>	発		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Can you ~?や He(She) can ~. などの表現について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ He can [can't] ~.</li> <li>・ She can [can't] ~.</li> </ul>
6	<p>◆他者に配慮しながら, 第三者のできることを紹介することができる。</p> <p>○【Let's Try】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生のできること, できないことを紹介する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">〈コ〉</p>	発	発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生のことを紹介するために, 動作や得意技などについて, 簡単な語句や表現を用いて話している。</li> <li>・先生のことを紹介するために, 動作や得意技などについて, 簡単な語句や表現を用いて話そうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ He can [can't] ~.</li> <li>・ She can [can't] ~.</li> </ul>

## 12 本時の学習

### (1) 本時の目標と授業の流れ

第3時	目 標：クイズを通して can, can't の表現に慣れる。 本時でつけたい資質・能力：コミュニケーション能力 準備物：デジタル教材，電子黒板，教科書，振り返りシート，
-----	---

過程	児童の学習活動	指導者の支援		指導上の留意点等 ◆評価
		T1 (HRT)	T2 (ALT・JTE)	

<p>導入</p>	<p>①挨拶をする。 ・日直が中心となってやり取りを進める。</p> <p>②Teacher's talk 指導者の話を、興味をもって聞いたり、質問に答えたりしながら聞く。</p>	<p>○挨拶をする。 “Hello! How are you?”</p>	<p>○Greeting</p> <p>○Teacher's talk (ALT&amp;JTE)</p>	<p>日直を中心に会話を行う。</p> <p>動作を加えながら話すことで、内容の理解ができるようにする。 児童に質問したり反応を伺ったりすることで会話に巻き込む。</p>
	<p>ALT : Hello. Look! Look at this. What's this? JTE : ○○? ALT : Yes, that's right. This is ○○. I can play ○○. I love ○○. Can you play ○○? How about you, Yoshimura? JTE : I can't play ○○.I can play ○○. ALT : Oh, I see. How about you, ○○さん?</p>			
<p>展開</p>	<p>③本時の学習のゴールを確認する</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">相手のできることを予想してたずねよう。</p>			<p>◆動作や動物を表す語について、示されている文字を手がかりに、その読み方を発音しようとしている。</p> <p>◆動作や動物を表す語を識別し、その読み方を発音する技能を身に付けている。 (コ)先生にインタビューすることを想像しながら、友達同士で、できることを尋ねあうことができる。</p>
	<p>④【Let's Play2】サイモンセズ ・動作の言い方について確認する。</p> <p>⑤【Let's Play 3】 ・Can you～?を使って、友達にできることを尋ねる。</p>	<p>○先生にインタビューすることを意識させながら、友達同士で尋ねあう。</p>	<p>○Simon says Game</p> <p>○Pair Talk</p>	
<p>A : Hi. I can play soccer. I can play the piano. I can't swim. Can you swim? B : Yes, I can. I can play baseball. I can't play the piano. A : Oh! I see. Thank you. B : See you.</p>				

まとめ	⑥振り返りをする。	○振り返りシートを書く ことを伝える。	○Reflection	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返り例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Can you ~? の使い方がよく分かった。</li> <li>・ 自分の「できること、できないこと」を伝えることができた。</li> <li>・ 自信をもって先生に聞くことができそう。</li> </ul> </div>			
	⑦あいさつ	○挨拶をする。	○Greeting	

(2) 本時の板書計画

Can you do this?      ゴール : Amadi 先生と吉村先生に甲奴小の先生のできることを紹介しよう

Thursday, June 17th

⑥ インタビューするために、相手のできることを予想してたずねよう。

動作のカード

Can you ~ ?

- ・ Yes, I can.
- ・ No, I can't.

I can ~.

動物のカード

# Can you do this ?

June



スタート	Can you do this ?					できること
①動作の表現を知る	②できること、できないことの言い方に慣れる	③友達にできることをたずねる	④	⑤	⑥	

## ★ふりかえり★

今日の外国語科は楽しかったですか。	はい	まあまあ	いいえ
進んで相手にたずねることができましたか。	はい	まあまあ	いいえ
次の外国語科が楽しみですか。	はい	まあまあ	いいえ
分かったことを書きましょう。			

### ①英語のことや世界こと

- ○○のことを 英語では ~ということが分かった。
- 英語で~というのは、○○な時につかうということが分かった。
- 日本ではこうだけど、外国ではこうなんだと分かった。

### ②それ以外のこと

- (めあての達成) ○○ができるようになった。○○がまだうまく言えない。ゴールに向けてここまでできた。
- (自分の成長) 前は~だったけど、今日は~できるようになった。
- (友だちのいいところ) ○○さんの意見のおかげで~だと分かった。
- (次にしたいこと) ここまでできたから、次はこうしてみたい。  
これができなかったから、次はできるようになりたい。  
この場面でこのえい語を使ってみたい。
- (ぎもん) こんなとき、どう言うのかな。  
この言い方が分からなかったからもう一度聞きたい。